

社会を明るくする運動

「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」

長野県作文コンテスト表彰作品

住民福祉課 社会福祉係 ☎62-9144

町内の小中学校から出品された178点のうち、県入選が4名、町長賞を6名、教育長賞を5名の方が受賞されました。

教育長賞				町長賞				県入選						
相談でスッキリ	声をかけるといこと	温かい気持ち	社会を明るくする運動	犯罪・非行のない地域社会の実現	地域の人たちの協力でうまれる絆	私の町	きれいな道路と明るい社会	犯罪や非行を防ぐために	社会を明るくする運動	一人一人の意識	今ぼくたちができること	「明るい社会」	「幸せリレー」	輝く方に目を向けて
境小学校6年	富士見小学校6年	富士見小学校6年	本郷小学校6年	富士見中学校3年	境小学校6年	富士見小学校6年	富士見小学校6年	本郷小学校6年	本郷小学校6年	富士見中学校3年	富士見小学校6年	境小学校6年	富士見中学校2年	富士見中学校2年
小林 都和	宮下 千陽	小森 啓志	中村 莉杜	小林 一真	谷 彦一	小林 愛彩	小川 陵吾	小林 寛太	野中 ぼたる	桑原 汐理	前島 暖孝	佐藤 陽菜	五味 愛凜	小池 麻歩

受賞作文から4点をご紹介します。



輝く方に目を向けて
富士見中学校2年
小池 麻歩

学校を終え、家へ向かう。車の行き来が多かったため、車の少ない道歩くことにした。のどかな自然に囲まれる地域の方が庭の手入れをする姿も見られる道だった。そんな道に私はあたたかさを感じ、その日からその道が私の通学ルートになった。

夏休みが始まり、部活のためにあの道を通って学校へ向かう。その日はまたまた、自転車走らせる地域の方とすれちがった。地域の方との関わりが浅かった私は「おはようございます」の一言が浮かばずにあせっていた。

「あたり前をあたり前にするのは難しい」、そんな考えが頭をよぎる。すると、地域の方が私よりも先に「おはよう」と言っただけで笑む。すかさず私も「おはようございます」とほほ笑み返す。心が本当に温かくなって、あいさつのパワーを感じることができた。

人が温かくなる行動は本当にささいなものなのかもしれない、そう感じた。行った本人は意識していない、気づいていない、そんな小さな行動は、相手にとっては大きなもので心を温める。逆に傷つけてしまうこともある。この捉え方の誤差を良い方に生かすことが最も重要なのだと思う。肯定的な言葉ならば、その誤差があっても、傷つく人は少ないだろう。なので、普段から否定的な言葉を使わないように意識していれば、苦しむことは最低限になると思う。あたり前にするには時間と意識が必要で、そう簡単なことではないが、自分を育む一歩として努力を費やすことも必要なのではないか。

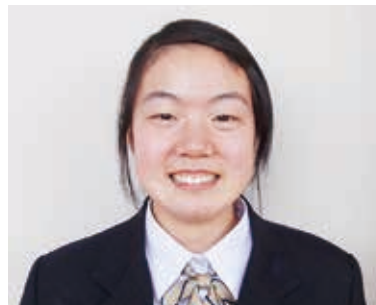
そのようにして①捉え方の誤差を意識し、②あたり前をあたり前にすれば、犯罪や非行がゼロになってもおかしくないと思う。だけど、人間であるからには、相手の気持ちや考えていることを推測することもできないし、自分を守りたくなくなってしまうことだってあるだろう。だから、どんなに他人想いの優しい人でも、気が遣える人であっても、突然、罪を犯してしまうことがある。その犯罪や非行の先には、それにより心を痛めた人がいる。そのため、罪を犯してしまった人が歩んできた道のりが、どんなに素晴らしいものだったとしても、その罪が許されることはない。けれど、その道は「過去」として残り、ずっと誰かの心に生きていく。

前に、テストが返ってきたとき、担任の先生が「できていない点数よりできている方を見て、できた自分をほめてあげて」と言っていた。これと同様に、その人の人生の道のりをたどったとき、犯罪や非行といった欠点に目をつけてしまいかもしれないが、その一点からその人を軽蔑せずに、輝かしい道のりのうちの欠点はほんの一部であることに気づいてほしい。また、数年前、近くのファストフード店が、落とした調理品をそのままお客さんに出し、謝罪しているニュースを見た。私はそのとき、そのお店には行きたくないと思っってしまった。だけど、辛い経験を乗り切ったお店ということは、より一層注意をはらっているのではないかと見方を変えてみた。すると、そのお店の過去も知らずに勝手な偏見をしていた自分を情けなく思うとともに、申し訳なく思えた。

犯罪や非行は、それを受けた被害者はもちろん、のちには加害者も苦しむことになる。起こってうれしい思いをする人はいないのだ。誰だって「悪い事」という認識もあるだろう。それなのに犯してしまうのは理由があるはずだ。その人のために事実をとがめるとともに辛い経験を経たその人の今後に期待して迎え入れるべきなのではないか。

暗いニュースが絶えない日々で、心の支えを求める人も多いだろう。だけ

ど、その先にはきつと希望の光が待っている。こんなときこそ常にプラスなことに目を向け、挑戦し続けられれば、挑戦の輪が広がり、明るい未来が拓けるはずだ。



「幸せリレー」
富士見中学校3年
五味 愛凛

私が社会を明るくするために大切だと思ふ事は、身の周りの誰かの幸せを願う事だと思ひます。

私は、道やその場所にゴミが落ちているとそれを拾い、捨てたくありません。他にも落とし物を見つけると、拾って届けたくります。なぜ私がこんな行動をするかというと、それは、私が拾わなかったために困ってしまう人がいるのを防ぐためです。私も昔、落とし物をしてしまい、とても困りました。そんな時に、後ろの方から、「これ落とし物でしたよ」と、私の落とし物を見て声をかけてくれた人がいました。物を受け取りながら、私はとても幸せな気持ちになりました。

りました。私が物を落とした事に気づき、見て見ぬフリをせずに届けてくれたからです。拾ってくれた人は気付いていないと思いますが、この行動は身の周りの誰かの幸せを願った行動だと思います。この人が私にしてくれたように、私も別の誰かを幸せな気持ちにしたいと思ひました。そして、その誰かがまた別の誰かを幸せにして欲しい。そして、その相手を思う気持ちが巡り巡って、また私に返ってきたら。私はまた幸せな気持ちになれます。このように人から人へ幸せが連鎖していきます。落とし物を拾ってくれた人からつながった『幸せリレー』。私はバトンを繋ぐ事ができませんでした。

母と買ひ物をして、会計をしていた時。私たちの隣で会計をしていた年配の男性がエコバッグを落しました。男性が困ってしまうのではないかと思ひ、足元に行き「どうぞ」とエコバッグを渡しました。すると男性は一瞬驚き「ああ」と言ひ、スタスタと行ひてしまいました。その時の男性の目がとても冷ややかで、私は悲しくなりました。私の行動が受け入れられなかったのがとても辛かったです。きっと男性にとつておせっかいだったのでしょう。ですが、私はこの行動に対する後悔が全くありませんでした。なぜなら、悲しさや辛さの中にとつても晴れ晴れとした気持ちがあったからです。バトンを繋ぐ事はできなかつたけど、「やつて良かった」と強く思ひました。男性の心に私の行動が少しでも花咲いていたら嬉しいです。

誰かの幸せを願う事は、相手と直接関わらなくてもできると思ひます。例えば、道にゴミが落ちていたとします。ゴミを拾った姿を見かけていても見かけていなくても、自分の歩いてる道にゴミが落ちていなければ、幸せな気持ちになり爽やかな一日になるのではないのでしょうか。私が通つていた小学校では、年に数回ゴミ拾い登校をしていました。ゴミ拾い登校とは、その名の通りゴミ拾いをしてしながら登校をする事です。私は、友だちとどちらが多量のゴミを拾えるかを競つていました。タバコが多かつた事を今でも覚えています。このような小さなゴミでも拾う事で、誰かが幸せになるかもしれない。こういった行動を地域一丸となつて行つたり、自分からやる人が増えたりすればいいと思ひました。そして私は、このような小さな行動にも気付き、「ありがとう」の一言を言ひる人になりたいです。

この社会には誰かの幸せを願つて日々生活している人がたくさんいます。その人たちから始まる『幸せリレー』は今日も社会にあふれていきます。私は、今日も明日もバトンを渡し続けます。一人でも多くの人が幸せになりますように、と願ひながら...



「明るい社会」
境小学校 6年
佐藤 陽菜

私は、「社会を明るくする」この言葉聞いてもどう考えていいのかわかりませんでした。12才の今まで、「事故・事件」「犯罪」が身近でなかったのが今がどんなに幸せか感じることもなく、あたり前のように生活していました。

そこで、「明るい社会」について考えてみることにしました。

私の住んでいる町は、静かで平和な町です。学校の帰りなどには、「おかえり」と声をかけてくれる近所の方がいて、いつも見守ってくれているんだと思います。駅前には学校帰りに、宿題をやったり遊んだりする場所もあります。宿題でわからない所があったら教え合ったり、ふだん遊ばない人と遊ぶきっかけにもなります。

私の母は仕事の帰りも早いのですが、帰りの遅い友達もさみしくないと違います。そんな地域であるから、「犯罪」などもないのだと思います。

私のおばあちゃんは、「ファミリーサポート」の会員です。一人暮らしのおじいさんやおばあさんの家の掃除をしたり、食事を作ったり、洗たくをしたり、話し相手をしたりしています。私のひいおばあちゃんが、介護してもらっている時に、周りの人からたくさんお世話になったので、その恩返しのためやっています。

また、おばあちゃんの知り合いで、元保護の方がいます。保護司をやっていたころは地域の相談員としてこうけんしていた方だそうです。「人はだれでもどんなことをした人でも、生きる権利がある。命を持つすべての人が人として生活できる世の中になければならない。」と話してくれるそうです。

このようなことから、私は「明るい社会」とは、人と人のつながりを、持つことだと思いました。人とのつながりがあれば、「犯罪」をやめようと思えるかもしれないからです。「犯罪」をやめることができなかったとしても、罪をつぐなうことができれば、社会の一員として居場所ができて、さみしい思いをして、「犯罪」など考える人のいない世の中になると思います。

そんな世の中が私の思う「明るい社会」だと考えています。あと、世の中から「犯罪」や「非行」がなくなれば、いいと思います。



今ぼくたちができること
富士見小学校 6年
前島 暖孝

ぼくたちの社会には非行が絶えませんが、なぜ非行がおきるかというと、家庭の問題などで、悲しかったり、心が折れてしまったり、一人ぼっちで寂しかったりする気持ちがある原因なのではないかとぼくは思います。その子供たちは、悲しい気持ちを少しでも忘れるために、悪いことをしたり、やけになつたりしてしまうのです。非行は、心が深く傷ついた子供が悲しい気持ちを、少しの間でも忘れるために行うことなのではないかと、ぼくは考えました。

では非行をなくすためにどうすればいいのでしょうか。それには、誰かに助けを求める必要があります。周りの大人は子供の悩みに全力で答えてくれます。友達でもいいです。まずは近くの大人や先生や友達に、助けを求めましょう。

ここまで書いてきましたが、もし非行を起こしている人や、やけになっている人に会ったら、自分なら、どうす

ればいいのでしょうか。これはぼくの体験談です。

ある日、ぼくが教室に戻る途中、階段に座り込んでいる子がいました。その子は4年生のT君でした。ぼくはどうしたの？と聞きました。そうするとT君は「ぼくなんて何の価値もない。ぼくなんか死ねばいいんだ」と言いました。

ぼくは、T君に「そんなことないよ」と言いました。しかしT君は「死んでやる」と言いながら、2階のまどから飛び降りようとしていました。そこで、先生と一緒にT君を止めて言いました。「もし君が死んだら、たくさんの人が悲しむよ」と。ぼくは、学校のトコトコで飾られているところにT君を連れて行きました。そして、そこにはつてある『命の詩』を読み聞かせました。『命の詩』とは、むかし、富士見小学校にいた先輩が残した詩です。その先輩は小児がんで、T君と同じ小学4年生でなくなっています。その詩には自殺をしないで精一杯生きようと言っていました。ぼくは読み聞かせた後T君に「病気で、この先輩は、精一杯生きただよ。だからまだ長生きできるのに、子供のうちから死んだら命がもつたないよ。死のうななんて思わずに、精一杯生きよう」と言いました。T君は、だまって少し考えてから「うん」とうなずき、もとの遊び好きなT君に戻ってくれました。ぼ

くはT君が分かってくれたので、すごくうれしくなりました。

ぼくはこのT君とのやり取りで、子供の自分にも、できることがあるということを知りました。これからも、そういう人に出会ったら、相手に寄り添って、話を聞いてあげたいと思います。

また、ぼくが大人になった時、自分の子供や地域の子供達に、愛情を注いであげられる人になっていかないといけないことを感じました。悲しい気持ちから、やけになってしまったり、悪いことや非行をしてしまう子供が、一人でも少なくなる社会になって欲しいと願います。

今回も素晴らしい作品が多数集まりました。
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
残念ながら表彰式は行われませんでした、
ぜひこれらの作文をきっかけに、
みなさんも「社会を明るくする運動」について、
考えてみませんか

前島さんの作文に登場した、富士見小学校に残る『命の詩』を紹介します。

命

宮越 由貴奈

命はとても大切だ

人間が生きるための電池みたいだ

でも電池はいつか切れる

命もいつかはなくなる

電池はすぐにとりかえられるけど

命はそう簡単にはとりかえられない

何年も何年も

月日がたつてやつと

神様から与えられるものだ

命がないと人間は生きられない

でも

「命なんかいららない。」

と言って

命をむだにする人もいる

まだたくさん命がつかえるのに

そんな人を見ると悲しくなる

命は休むことなく働いているのに

だから 私は命が疲れたと言うまで

せいっぱい 生きよう

春の文化財ウォーク 参加者を募集します

申込 問 生涯学習課 文化財係 ☎64-2044

富士見町には現在、町の歴史を語るうえで欠かせない75件の文化財があります。

2回目となる今回は、桜や菜の花で色づく景色も楽しみながら、境方面の文化財を歩いて巡る「文化財ウォーク」を開催します。学芸員と一緒に、ガイドブックを見ながら町の文化財をめぐるしてみませんか？

- 【日 時】 4月16日(土) 午前9時～正午 ※雨天中止
- 【行 程】 井戸尻考古館 … 田端天神社 … (池生神社) … 高森観音堂枝垂桜 …
… 池生神社宝刀・天明四年銘の唐箕(歴史民俗資料館)…
… 藤内遺跡出土品ほか(井戸尻考古館) … 考古館駐車場
- 【集 合】 井戸尻考古館 駐車場
- 【資料代】 1,600円(冊子『富士見町の指定文化財』の代金として)
※冊子を既にお持ちの方は、資料代は必要ありません。
- 【服 装】 動きやすいもの・運動靴
- 【持 ち 物】 帽子・水筒・汗拭きタオル・マスク・その他必要なもの
- 【申込締切】 4月13日(水)までに電話にてご予約ください。

富士見町の指定文化財

昨年3月にリニューアル
しました！
郷土の歴史や
文化に親しむ
一助として
ください

